

## J L T F 大分県支部主催大会に向けた感染拡大予防ガイドライン

本ガイドラインは、スポーツ庁、日本スポーツ協会、日本テニス協会、日本テニス事業協会がこれまで発表したガイドライン等の情報に沿って、J L T F 大分県支部が主催する大会における感染拡大予防のための留意点をまとめたものです。大会に参加される選手だけでなく、会場に来場される応援者、観客の皆さんにおかれましては、大変ご不便をおかけしますが、全ての皆さんの安心安全を守るという趣旨をご理解の上、大会にご参加いただきますようお願いいたします。

### 参加選手・来場の応援者の方へのお願い

- (1) 大会会場来場前には検温を実施するなど体調のチェックをお願いします。
  - ① 体調がよくない場合（当日も含め5日間以内に発熱・咳・咽頭痛・鼻汁・下痢などの症状が一つでもある場合）は可能な限り医療機関の受診・検査をお願いします。
  - ② 有症状未検査、現在症状がある方は来場を遠慮いただくようお願いいたします。
  - ③ 陽性となった場合：
    - ・発症後5日かつ症状消失24時間になるまでは来場をお控えください。（ご来場された場合、参加者の指摘などにより退場を促す場合があります。）
    - ・発症後10日以内は可能な限り来場を控えていただくか、不織布マスクを装着するなど、周りの方にはうつさないよう配慮してください。症状が残っている場合も不織布マスクの着用をお願いします。
- (2) マスクの着用は個人の判断に委ねられます。周囲に高齢者など重症化リスクの者がいる場合や、密になる場合などはマスク着用を推奨します。（会場へのマスクの携帯はお願いします。）
- (3) 定期的に（特に試合の前後）手洗い、消毒等をするように心がけ、用具、用品（ラケット、タオル、ウェアなど）の共用は避けること。
- (4) 会場内での応援は制限しませんが、周囲に高齢者など重症化リスクの者がいる場合や、密になる場合などは、マスク着用や大声を控えてもらうようお願いいたします。
- (5) 会場内で購入したドリンク類、他から持ち込んだ飲食物などのごみ類（使用済みマスク等）は必ず全て自分で持ち帰ること。
- (6) 安心安全に大会運営を行うために大会主催者が決めたその他の措置などについて、主催者の指示に従ってください。

### 試合当日～試合の手順等

- (1) 会場に到着したら、本部で受付を行ってください。
- (2) 本部のオーダーオブプレーボードで、自分の試合コート、進行状況を確認する。
- (3) 試合待機中はできるだけ密を避け、試合前エントリー番号の若い選手はボールを受け取っておく。
- (4) 前の試合が終了したら、選手が完全にコートから退場した後に入場する。  
（試合が終了した選手は、速やかにコートから退出すること）

- (5) 試合開始前の挨拶、トスおよび試合後の挨拶はネットから1 m以上離れて行う。  
(試合後の握手はせずに挨拶のみとする)
- (6) ゲーム中、ポイントゲットの際などに大声を発することはしない。また、ダブルスでは、インプレー中以外はペアとの距離を保ち、至近距離の会話、ハイタッチ、握手は避けること。
- (7) エンドチェンジの際は選手がそれぞれ距離をもって移動し、スコアボードについては自分のスコアのみ変える。
- (8) 勝者がボールを返却し、密を避けながら結果の報告をする。
- (9) 試合終了後は除菌シートでスコアボード、ベンチを拭き、必ず手洗いをする。
- (10) 感染予防対策を優先するため、表彰式については省略した形で行います。

#### その他

- (1) 大会終了後、万が一5日間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して報告してください。また、大分県、医療関係等へ個人情報を提供する可能性があることをご了承ください。
- (2) 本感染対策の、各項目の適用については、感染の状況により大会ごとに判断し弾力的に運用します。

令和5年5月21日施行